

キラリと光る企業を応援 Business Support Fukuoka

ビジサポ ふうくおか

公益財団法人 福岡県中小企業振興センター <http://www.joho-fukuoka.or.jp/>

Management News
for Business

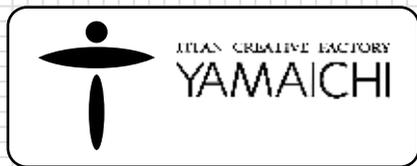
vol.247
2022.11

- 02 Hello,Company! No.76
株式会社AIBOD(アイボッド)
(福岡市)
- 06 グラフdeふうくおか
- 07 海外駐在員レポート No.246
「バンコク日本博2022」について
- 08 実録ビジサポ
福岡県プロフェッショナル
人材センター
- 09 知的財産支援センター
特許流通支援

04 Hello,Company! No.77

フットワークとネットワークで 映像制作をサポート

株式会社メディアサポート(福岡市)



チタン製品 ラインナップ

高度なテクニックが要求されるさまざまなチタン加工品について、山一は、多量、少量のロットにかかわらず迅速かつ柔軟に誠意を込めて対応します。チタンだけでなく、ハステロイ、タンタル、ジルコニウムなどのご要望にもお応えします。

温泉用熱交換器



ブライン用熱交換器



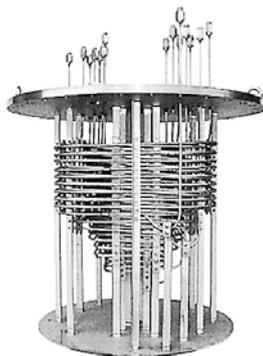
冷却コイル (管径50A)



フィンクーラー



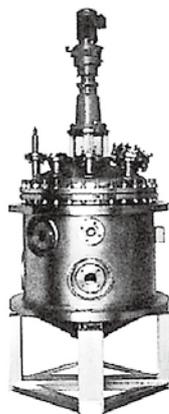
コイル式熱交換器



冷却攪拌パイプ



ジャケット式タンク



再熱器



真空チャンバー



【特注品の設計製作】

防錆、軽量化、フリーメンテなどお客様の問題解決はもとより、建築、機械、プラントなどあらゆる分野の新製品開発に対し、設計、製作とリアルタイムで対応します。

株式会社 山一製作所

本社／第一工場：北九州市門司区松原3-4-2 〒800-0064

TEL.093-381-2234

FAX.093-381-2235

<http://www.yamaichi-net.co.jp>

E-mail:info@yamaichi-net.co.jp

INDEX

| | |
|-----------------------------------|----|
| Hello,Company! No.76 | 02 |
| 株式会社AIBOD (アイボッド) (福岡市) | |
| Hello,Company! No.77 | 04 |
| 株式会社メディアサポート (福岡市) | |
| グラフdeふくおか | 06 |
| 海外駐在員レポート No.246 | 07 |
| 「バンコク日本博2022」について | |
| 実録ビジネス | 08 |
| 福岡県プロフェッショナル人材センター | |
| 知的財産支援センター | 09 |
| 特許流通支援 | |
| 「自動車関連企業電動化参入支援センター開所記念フォーラム」開催報告 | 10 |
| 福岡労働局からのお知らせ | 10 |

オンラインもオフラインも 安心 快適な 振興センターで!!

日ごろの業務は…
ワンコインスペースで
『テレワーク』

【ワンコインスペース】



【バックパネル使用時】

1日 500円(税込)
(9:00 ~ 17:00)
途中入退出OK

※Web会議等でバックパネル使用の場合330円が別途必要です。
(イヤホンマイクはご持参ください。)
※お茶(280ml)1本サービスです。

週に1度は…
会議室で
『ミーティング』

【会議室】



【16名利用時】

2時間 7,480円~
(15名程度)
口の字で25名程度まで対応可

福岡県中小企業振興センター

JR吉塚駅徒歩1分

Wi-Fi 完備

福岡市博多区吉塚本町9番15号

TEL: 092-622-0011



「ふくおか」の
元気な企業を訪ねて。

Hello, Company!

No.76

使いやすい人工知能(AI)システムを開発しているスタートアップ企業のAIBOD(アイボッド)。不動産やエネルギー、自動車など対象分野は幅広く、顧客は地場企業から国内外の大手企業に及びます。業務の効率化や新ビジネスの創出などにAIが活躍の場を広げる中、コンサルティングからシステム開発まで一貫して対応しています。

株式会社AIBOD(アイボッド)
(福岡市)



福島県大熊町でオープンしたBAITEN STAND

DATA

企業概要



企業名 株式会社AIBOD (アイボッド)

代表者 松尾 久人

所在地 福岡市中央区大名1-8-7

T E L 092-982-6090

U R L <https://www.aibod.com>

従業員 6名

事業内容 ソフトウェア・クラウドサービスの企画・開発・運営および販売

AIを使いやすく

まちづくりにかかわる



松尾社長は産学官連携で幅広い業界とかがわる

設立は2016年2月。当初の社名は「チームAIBOD」で、2022年9月に現社名となりました。AIBODはAIとビッグ・オープン・データに由来します。松尾久人社長は福岡県出身。IT技術者やコンサルタントを経て九州大学でリサーチャーを務めました。福岡市東部で九州大学箱崎キャンパス跡地に次世代型都市のスマートシティーを目指した産学官民によるまちづくり「スマートイースト」にもかかわっていました。

コンパクトなAIシステム

不動産分野では管理業務における問い合わせについて、その意図をくみ取って適切な対応に効率的につながるシステムがAIBODにはあります。エネルギー分野で手がけるのは、再生可能エネルギーによる発電予想と電力需要予想を組み合わせる電力需給計画を作成するシステムです。自動車分野では部品メーカー向けシステムや自動運転車の画像認識システムの研究開発に取り組んでいます。



AIBODのAI画像認識は比較的少ない画像データで構築できる

AIBODが取り組むAIの特徴の一つがエッジAIです。複数のAIを組み合わせて総合的に判断するAIを設計しています。それにより、少ないデータで学習するコンパクトかつ高精度なAIシステムが構築可能です。クラウドにデータを送らずに現場の機器や端末で処理するエッジAIとして最適です。

視覚を持ったAI販売員

AI画像認識技術を生かしたサービスの一つが東日本大震災からの復興が進む福島県大熊町で2022年7月に稼働を始めました。無人販売レジ「BAITEN STAND」です。顔認証による決済サービスを組み合わせ、商品購入の際に面倒な手間が発生しないキャッシュレスシステムとなっています。マットに商品を置くだけでカメラ画像から商品情報を認識します。あとはキャッシュレスで決済するだけです。BAITEN STANDは省スペースで24時間稼働でき、セルフレジに比べて導入コストを抑えられます。バーコードを使用しない柔軟な売り方に対応できることも特徴です。将来的には顔認証による決済サービスを組み合わせ、利便性を向上させます。今後、無人販売で地域ネットワークを築き、復興を後押ししていく考えです。



BAITEN STANDでの購入はマットに商品を置くだけ

MESSAGE

経営者の声



松尾 久人 社長

AIシステムの活用では画像認識が先行しています。中小も含めた製造業の分野では業務の自動化に大きな可能性があると考えています。当社が手掛けるエッジAIは、高性能PCでしか動作しなかったAIが、現場の低性能PCでも動作可能なことなどが強みです。BAITEN STANDで当社は、レジシステムとしては後発ですが過疎地域などの地方で重要な「自販機以上、コンビニ未満」の位置付けで地位の確立を目指しています。

（お問い合わせ） 取引支援室 TEL :092-622-0040

「ふくおか」の
元気な企業を訪ねて。

Hello, Company! No.77

株式会社メディアサポート
(福岡市)

野球やサッカーの中継放送に興奮したり、「博多どんたく」「唐津くんち」といった祭りの様子をリアルタイムの中継で楽しんだりしている人は多いでしょう。そのような中継は映像や音声を現場から届けるため、さまざまな機材、カメラマンをはじめ多くの人に関わることで成り立っています。しかし画面に映ることはないため、ほとんど視聴者に意識されることはありません。メディアサポートは福岡県を中心に、音声の中継などでテレビ番組などの制作を影で支えています。



様々な車両が中継で活躍する

DATA | 企業概要



企業名 株式会社メディアサポート
代表者 城戸 一郎
所在地 福岡市城南区東油山4-19-21
TEL 092-400-5077
FAX 092-834-2899
E-mail media5519s@gmail.com
URL <http://www.mediasupport-fukuoka.com>
従業員 6名

フットワークとネットワークで 映像制作をサポート

県内外から仕事の依頼



中継車のメンテナンスにも気を配る

メディアサポートは2002年4月に城戸一郎社長が個人事業で設立し、今年で20周年です。設立当時から放送業界では、中継に外部の協力を得るのは珍しくありませんでした。放送局からの要請に一つ一つ応えていきながら、ノウハウと信頼を積み重ねてきました。タレントや俳優が移動する、いわゆる「ロケバス」の運行も手がけます。現在では県内の主要放送局の全てから仕事の依頼があります。さらに口コミで県外や九州外の仕事を受けることもあり、2016年の熊本地震では長期にわたり被災地に入りました。

豊富な経験とノウハウ

中継には現場への車両の移動が欠かせません。中継で求められるのは目的地に行くことだけではありません。メディアサポートは、何をどう撮影したいのかを理解し、適した場所を提案できます。例えば橋の全体や立地が一目で分かるような俯瞰した映像が欲しい



中継車の内部はオリジナル仕様

メディアサポートは2002年4月に城戸一郎社長が個人事業で設立し、今年で20周年です。設立当時から放送業界では、中継に外部の協力を得るのは珍しく

場合があります。橋から数キロ離れた山の上を提案することもあります。車両を止める位置も中継に支障がないよう細心の注意が必要です。豊富な経験で中継を熟知しているからこそそのノウハウがモノを言います。城戸社長が「アテンド力」と語る、メディアサポートの実力は業界で定評があります。地震などの災害時には特に臨機応変な動きが必要です。道路が寸断されて迂回しなければならなかったり、仕事の時間は不規則で長期に及ぶ場合もあつたりします。

車両、設備の充実に力を入れる



中継車には使いやすさに配慮した工夫が詰まっている

中継の仕事は、コロナ禍でイベントが減ったことで少なくなりました。しかし中継のニーズがなくなることはありません。城戸社長は事業拡大も視野にあり、設備投資を積極的に進めてきました。福岡県中小企業振興センターの設備貸与制度ではテレビの地デジ化に対応したモニターなどを整備しました。現時点で中継車6台、ロケバス8台を運用しています。バスは一般の旅行や行事などでの運行も請け負います。車両は今後も増やしていきたいと考えて、駐車スペースを拡張する構想もあります。

MESSAGE

経営者の声



城戸 一郎 社長

私たちは番組制作・映像制作などに必要な特殊車両や旅客車両を提供しています。ローカル番組や都市部メディアの依頼など幅広く請け負っています。長年地元で培ったノウハウと駆動力は、九州内でもトップクラスと定評をいただいています。これからもフットワークとネットワークを駆使して映像制作を全力でサポートいたします。

(お問い合わせ) 総務管理部 TEL : 092-622-6322



「バンコク日本博2022」について

9月2日から4日までの3日間にわたり、バンコク都の中心に位置する大型商業施設サイアムパラゴンで開催された「バンコク日本博2022」。今回は3年ぶりにリアルで開催され、9万人を超える来場者が訪れたこのイベントの様子をレポートする。

はじめに

バンコク日本博はタイの人々に日本をもっと身近に感じてもらうことをコンセプトとして、日本の様々なカテゴリーの展示に触れることができる展示会である。「トラベル」、「ショッピング」、「飲食」、「アニメ・マンガ・ゲームなどの「コンテンツ」、「留学」、そして在タイ日系企業・日本の会社などが参加する「就職フェア」などで構成されており、日本を総合的にPRしているのが特徴だ。

展示会の様子

■オープニングセレモニーやメインステージの様子



オープニングセレモニー

オープニングセレモニーでは、在タイ日本国大使のほか、バンコク都やタイ外務省などが参加しており、

「今年は日タイ修好135周年だが、諸説によれば、タイと日本の関係は600年前から交流が続いていたとも言われている。この日本博を通じて、お互いの友好関係がさらに深まっていくことを期待する」、「日本博は、日本のためにやっているのではなく、日本とタイが一緒になり、それぞれの未来のために頑張っていく活動の一つ」などの挨拶があった。

また、会場に設置されたメインステージでは、両国で活躍しているアーティストによるパフォーマンスや日本文化を紹介するス



盆踊り大会

テージイベントが行われていたが、中でもタイ国日本人会主催の盆踊り大会が非常に印象的で、会場に訪れていた日本人だけでなくタイ人も飛び入りで参加するなど大盛況だった。

■主な出展ブースの様子

「トラベル」ゾーンには、JNTO（日本政府観光局）や日本各地域からの30を超える団体の出展があったが、九州からは、福岡県をはじめとして、北九州市、熊本県、大分県、鹿児島県などの自治体が出展。本県ブースでは3日間で約500件のアンケートへの回答があった。イベント開催当時、日



トラベルゾーン（福岡県ブース）

本へ観光するためには、ビザの取得やツアーで入国するなど各種の条件があったにも関わらず、パンフレットやチラシを見ながらおすすめの観光スポットなどについて出展者と熱心に話をするタイ人をあちらこちらで見かけることができた。

一方、「就職フェア」ゾーンでは、在タイ日系企業だけでなく、日本で働くタイ人を求めるブースを含め約30団体が出展していた。出展者によると「数年前から出展しているが、ITエンジニアやWEBマーケティング、インバウンド人材へのニーズがある。少しずつ認知されてきており、今後のマッチングに期待が持てた」とのことだった。また、就職フェアブースを運営する小林愛可氏（パーソナルコンサルタントマンパワータイランド）は、「年齢や専攻、日本語レベルなど様々なバックボーンを持つ多くのタイ人に足を運んでいただき、約3,000件の登録があった。個人的には日系製造企業で働くことを希望する優秀な理系人材が多かったように感じている。来年は今年よりも渡航しやすくなっているので、私自身の地元でもある福岡の企業にも参加していただき、人材獲得だけでなく、自社PRの場としても利用してほしい」と話す。

おわりに

このバンコク日本博は日本をテーマとした展示会としては、タイ最大級の規模である。ブース出展だけでなく、観光関係や物販の商談会も実施されており、販売促進や商談の場としての活用も期待ができる。来年も9月に開催される



就職フェアの運営を担当した小林氏

予定だ。当事務所においては、今後もタイで開催される展示会情報はもとより、タイへの進出やタイでの販路開拓等のサポートも行っているため、ぜひ活用いただきたい。

※写真は全て著者撮影による。



福岡県プロフェッショナル人材センター

福岡県プロフェッショナル人材センターは、内閣府地方創生推進室の人材支援事業を福岡県から受託しています。県内の主に中小企業が「攻めの経営」に転換するため、いろいろな経営課題を解決するプロ人材を確保するお手伝いを致します。民間人材ビジネス事業者、シニア人材保有機関、県内外の大企業などと連携し、中途採用による正規雇用のみならず、副業兼業による外部専門人材のマッチングにも対応致します。是非お気軽にご相談ください。今回は、県内大企業の人材活用事例を紹介致します。

福岡県内大企業連携

トヨタ自動車九州株式会社

2021年7月協定書締結

- ・「地域のパートナー制度」
- ・会社間での業務委託契約
- ・週1～2日程度の伴走型支援
- ・期間は基本6か月単位
- ・リーズナブルな費用負担

株式会社安川電機

2022年3月協定書締結

- ・在籍出向（転籍も可）又は業務委託契約
- ・出向／業務委託とも、「フルタイム」でも「パートタイム」（例えば週1日）でも対応
- ・期間は個別に対応
- ・雇用条件及び業務委託内容に応じた費用を負担

トヨタ自動車九州 「地域のパートナー制度」 活用事例

大隆工業株式会社（京都郡みやこ町）

■事業内容

精密板金機械加工

■課題

製造工程整流化による生産性向上、改善点の洗い出し・対策など

■支援状況

製造工程の改善経験豊富なシニア層社員が支援を担当。大隆工業のスタッフとともに、モノの流れ整流化に向けて工程間の部品供給方法の改善などに取り組んでいる。



株式会社豊前工業所（豊前市宇島）

■事業内容

鉄製品製造

■課題

財務・原価情報のデータ整理、管理方法整備による見える化など

■支援状況

原価管理業務の経験があるミドル層社員が支援を担当。伝票のデータベース化やコストの見える化を実施。並行して見積原単位の作成やキャッシュフローの整理に取り組んでいる。



お問い合わせ先

福岡県プロフェッショナル人材センター

福岡市博多区吉塚本町9-15福岡県中小企業振興センター9階

■TEL: 092-622-8822

■Mail: center@projinzai-fukuoka.jp

■HP: <https://www.projinzai-fukuoka.jp>

HP

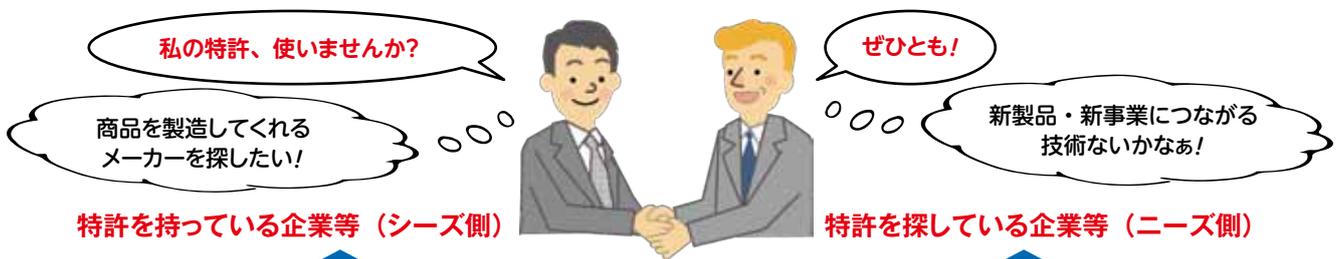


Facebookページ

福岡県知的財産支援センターでは、INPIT福岡県知財総合支援窓口と連携し、中小企業者の皆様が企業経営の中で抱える知的財産に関する悩みや課題について、窓口相談や知財専門家等の活用等を通じて総合的に支援します。このコーナーでは、窓口支援、特許等の活用、地域団体商標などの支援活動をご紹介します。

特許流通支援

- 特許流通とは、特許をライセンス（実施権許諾）したり、売買することにより技術移転を行うことです。
- 言い換えると、特許を持っている企業等と技術を探している企業等が、その特許技術を活用して、新たな商品、技術を生み出したり、新たな市場を開拓することです。
- 福岡県知的財産支援センターでは、特許流通コーディネーターが企業等の特許を活用したビジネスを円滑に進めるための調整や特許流通の促進を行います。



特許を持っている企業等（シーズ側）

特許を探している企業等（ニーズ側）

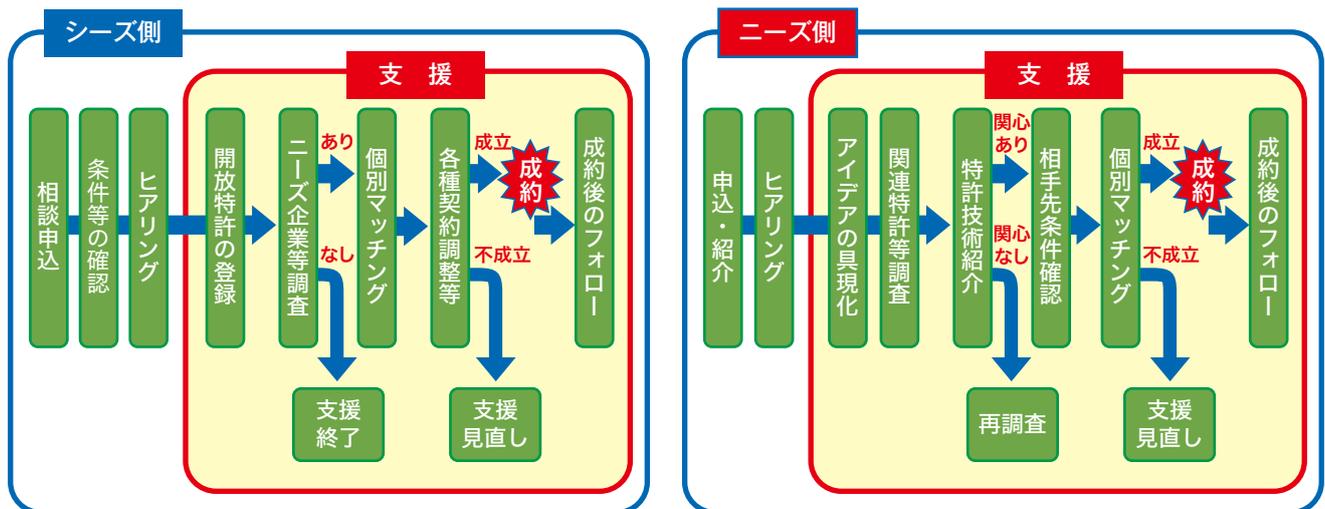
メリット

- ・自ら使用していない特許（いわゆる休眠特許）を、他の会社に使ってもらうことでライセンス収入を得ることができる。
- ・自らだけでは製品化、事業化できない部分を補ってもらい、商品等を市場に出すことができる。
- ・遠隔地での生産・販売を他の会社に任せて、製品の販路を広げることができる。

メリット

- ・他人の特許技術を導入し、新事業の実施や新商品の開発を行うことができる。
- ・自らの弱い部分を新技術に補ってもらい、品質向上、コストダウン等を実現することができる。
- ・自社で研究開発投資をすることなく、ライセンス料等で、新技術を利用することができる。

支援の流れ



ご相談、申込は、「福岡県知的財産支援センター」
特許流通コーディネーター 高橋 まで
TEL : 092- 622- 0035

福岡県開放特許情報

<https://www.joho-fukuoka.or.jp/intellectual/lp/lp.html>



モノづくりフェア 2022 にてフォーラムを開催 「自動車関連企業電動化参入支援センター開所記念フォーラム」

(公財)福岡県中小企業振興センターでは、去る7月13日(水)に、当センター内に「自動車関連企業電動化参入支援センター」を開所しました。

電動化支援センターの開所を記念し、10月5日(水)に福岡市のマリンメッセ福岡で、福岡県との共催により「自動車関連企業電動化参入支援センター開所記念フォーラム」を開催しました。

フォーラムにはオンライン受講を含め201名が参加し、電動化に対する自動車関連企業の関心の高さがうかがえました。振興センター桑野理事長のあいさつ、職員による電動化支援センターについての説明に続いて、経済産業省製造産業局自動車課の大崎課長補佐から「自動車産業を取り巻く現状と施策の方向性」について講演が行われました。

特別講演では日本電動化研究所代表取締役の和田憲一郎氏から、「e-Mobilityが切り拓く新時代～チャンスとリスクが混在、自動車部品産業の生き残り策は～」というタイトルで講話がありました。

フォーラムに参加した方々からは「世界のeモビリティの背景がよく理解できた」「自動車業界の転換期だとヒシヒシと感じた」といった声がありました。



桑野理事長のあいさつ



大崎課長補佐の講演



和田氏の特別講演

福岡労働局からのお知らせ

「労働保険の加入はおすすめですか？」

～安心への 最初の一步 労働保険～

労働者(パート・アルバイトを含む)を1人でも雇っている事業主は、労働保険(労災保険・雇用保険)に加入することが法律で義務付けられています。

まだ、加入手続がお済みでない事業主の方は、労働者が安心して働ける職場作りと安定した事業経営を図るため、所轄の労働基準監督署・公共職業安定所(ハローワーク)で加入手続を行ってください。

【お問い合わせ先】

福岡労働局総務部労働保険徴収課

TEL 092(434)9835

【福岡労働局ホームページ】

「労働保険の加入手続はおすすめですか 福岡労働局」で検索



福岡県中小企業活性化協議会

福岡県信用保証協会
 ☎ 092-441-1221
 ☎ 092-441-1222

新型コロナの影響を含め事業の継続でお困りの事業者・企業の皆様へ！

詳しくはホームページ！ https://www.fukunet.or.jp/saisei_shien/ に！

アクセスすると

再生支援協議会は公的機関として中小企業・事業者の皆様をサポートします！

計画策定支援を通して経営全般に亘りサポートし積極的に金融機関調整を行い
 経営者の負担を軽減 します

事業継続・経営改善に向けて次のような悩みをお持ちの方は！！

- ・コロナ融資等で借入金が増え、**今後の返済** ができるか不安だ
- ・金融機関から **経営改善計画の策定を要請** されている
- ・リスクをすると金融機関に悪い印象を与えそうなので、**リスクは最終手段** と思っている
- ・一部の金融機関が **サービサーへ債権譲渡** してしまった
- ・事業譲渡し、**従業員の雇用** を守りたい
- ・**保証債務** のことが心配
- ・**廃業** を考えているが取引先や金融機関に迷惑を掛けたくない

まずはご相談を **相談内容申込フォーム** **相談は無料です**

協議会手続きの流れ

※相談事項の秘密は厳守します！



一次対応
 相談無料

福岡県中小企業活性化協議会
専門家によるアドバイス
 中小企業の経営改善や再生に精通した専門家が常駐し、ご相談に応じます。
 ● 面談や提出資料の分析を通して経営上の問題点や具体的な課題を抽出します
 ● 課題の解決に向けて適切なアドバイスを行います。

二次対応
 費用負担が発生しますが
 国が一定程度（原則50%）
 補填します。

経営改善・再生計画を策定する必要があると協議会が判断した場合

経営改善・再生計画策定支援
 中小企業診断士、公認会計士、弁護士、金融機関等で構成される個別支援チームにより経営改善・再生計画策定を支援します。

関係機関との調整
 必要に応じて関係金融機関等との調整を行い、同意を得て計画がスタートします。

フォローアップ
 計画策定後も定期的なフォローアップ、必要なアドバイスなどを行います。

通常の個別相談で対応できる場合

再建が極めて困難な場合

関係支援機関紹介

法的再建等を紹介

中小企業のベストパートナー

～県内中小企業の5割以上にご利用いただいています～

信用保証協会とは

公的な保証人

中小企業の皆さまが金融機関から事業資金を借入する際に「公的な保証人」となり、皆さまの資金調達をサポートします。

経営支援の取り組み

中小企業の経営課題に応じた各種支援を専門家と一緒にって取り組んでいます。

ニーズに応じた資金調達が可能

創業資金や事業拡大資金、経営安定のための資金など、多様な資金ニーズにお応えします。

※審査の結果、ご希望にそえない場合がございます。



福岡県信用保証協会

【お問い合わせ先】

お客様相談フリーダイヤル

0120-112-249

- 本所営業部：092-415-2601
- 大濠支所：092-734-5923
- 北九州支所：093-551-2634

- 久留米支所：0942-38-1022
- 筑豊支所：0948-22-3585
- 大牟田支所：0944-52-6011

福岡県信用保証協会

検索

<https://www.fukuoka-cgc.or.jp/>



さまざまなリスクを伴う事業活動



備えは万全ですか?? 共済や保険の掛け忘れはありませんか??

チェック

✓して確認していきましょう!!



チェック

✓がついてない項目はすぐにお問い合わせを!!

 **福岡県火災共済協同組合**

福岡市博多区吉塚本町9-15 中小企業振興センター8階

TEL : 092-622-8071 FAX:092-622-8838

各種共済の内容は、取扱代理所または福岡県火災共済協同組合のホームページへ URL:www.fkyosai.com/

主要加工品目

半導体製造装置部品

医療機器部品

食品機器部品

油圧機器部品

省力化装置部品

精密加工のプロフェッショナル

SAKATA PRECISION

作り手としてのプライドを胸に、縁の下の力持ちであり続ける

株式会社坂田精密

代表取締役社長 坂田 竜太

〒838-0056
福岡県朝倉市中原173-5
tel 0946-26-4011 fax 0946-26-4022
<https://sakata-seimitsu.com/>

Infinity



設備
マンション
管理
ファビルスはひとつ先の
快適環境をめざします。
清掃
警備

- 日常清掃、定期清掃 (床面洗浄、カーペット洗浄、ワックス作業)
- 特別清掃 (窓ガラス清掃、外壁清掃) など
- 常駐警備、防災管理 (有人管理) ・交通誘導、雑踏警備・集中管理システムによる機械警備 (ファビックス) など
- 日常運転管理 ・設備機器定期保守 ・空気環境測定、水質検査
- 消防、防災設備点検
- 貯水槽清掃、汚水雑排水槽清掃 ・害虫及びネズミ駆除など
- 管理組合事務代行
- マンション管理人
- 各種リフォーム工事



〒812-0011
福岡市博多区博多駅前1丁目1番1号 (博多新三井ビル12F)
TEL 092-431-4611 FAX 092-481-2317



【事業内容】

- 建物施設・設備 保守管理業務 (電気・空調・衛生・搬送・消防設備管理、危険物貯蔵所管理 他)
- 航空機整備施設等 保守管理業務 (ドックスタンド設備、クレーン設備、大扉 他)
- 産業機械設備 保守管理業務 (搬送設備、自動倉庫設備、X線等検査機器、各種自動化ロボット機器※ 他)
※産業・食品問わず、メンテナンスから自動化提案まで何でもご相談下さい。
- 環境衛生業務 (日常・定期・特別清掃業務、害虫防除、各種水槽清掃 他)
- 受付接遇業務 (企業受付業務、ラウンジ等接遇業務、メール室業務 他)
- 施設警備業務 (建物施設警備、航空機監視業務 他)
- 空港保安警備業務 (ハイジャック防止検査、従業員検査、受託手荷物検査)
- 建築工事 (リフォーム、外装・内装・塗装工事、各種設備工事 他)
- その他の業務 (マンション管理、植栽管理、省エネ提案 他)

ANAスカイビルサービス株式会社
〒144-0041 東京都大田区羽田空港3-5-10



【お問合せ先】
受付時間 9:00 ~ 18:00 (土日祝、年末年始を除く)
サービス・見積 営業部営業課 03-6700-2805
採用 総務人事部 03-6700-2808